銅賞

高校

浅見　遊

あさみ　　ゆう

千葉県立東総工業高等学校 建設科

旭市立美術館

～旭の街を知る～

千葉県の北東に位置し、自然に囲まれた旭市。千葉県内や県外の人々はどれだけ旭市のことを知ってくれているのだろうか。

「ひとが輝き　海とみどりがつくる健康都市　旭」

旭市の将来都市像である。旭市には豊富な特産物があり、刑部岬や屏風ヶ浦の景色は素晴らしいものだ。
このような自然の産物や景観に優れた旭市の街を知ってもらいたい、旭の街に足を運んでもらいたいと考え、ここに美術館の設計をした。

美術館をテーマとしたこの卒業設計の特徴は、作者が持っている旭市に対する強い愛情をベースに発想されていることです。それは、旭市特産の農作物を販売するマルシェと美術館を結びつけることで、特定の人のための美術館をみんなが集まる美術館に変えるという、大変ユニークな提案を生み出しました。
あたりまえの話ですが、建築の敷地とは大地のことです。豊かな大地が人間の生活や社会を育んできたからこそ、街や建物が存在しているのです。建築の設計をするということは、今の姿を形作った大地と人間の歴史について、深く理解することがとても重要です。そこから新しいデザインが生まれてくるといっても過言ではありません。場所に対する深い愛情から生まれた浅見君の卒業設計は、そんな重要な種を内包しています。せっかくの種ですから、これからその種を大事の育ててください。そして、個性的な花を咲かしてください。期待しています。

審査員：安田　俊也

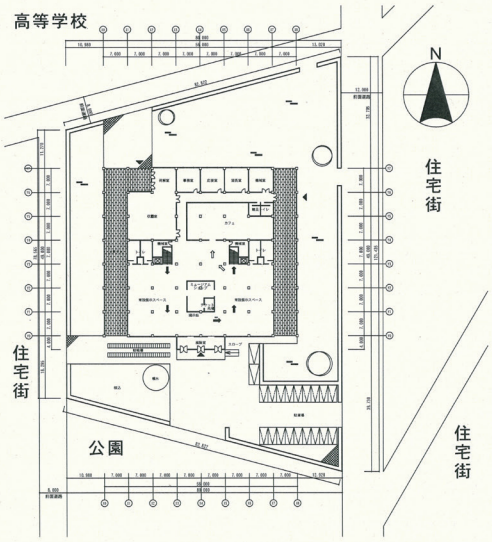
旭市立美術館
～旭の街を知る～

千葉県の北東に位置し、自然に囲まれた旭市。千葉県内や県外の人々はどれだけ旭市のことをしってくれているのだろうか。

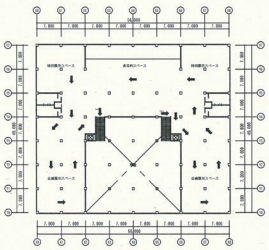
「ひとが輝き　海とみどりがつくる健康都市　旭」

旭市の将来都市像である。農産物、畜産物、水産物を軸に豊富な特産物がある。また、飯岡灯台のある刑部岬やイギリス・フランス間のドーバー海峡に似ていることから、東洋のドーバーと呼ばれる屏風ヶ浦の景色は素晴らしいものだ。このような自然の産物に優れた旭市の街を知ってもらいたい、旭の街に足を運んでもらいたいと考え、ここに美術館の設計をした。

敷地周辺には学校や公園があり、地域の人たちが集い易いように四方から敷地内に入ることができる。敷地内に入ると、広大な土地に駐車場、駐輪場、噴水、植込など様々な形で有効に活用できることも旭市の特徴だ。旭市には盆地が多いことから、風が吹き抜けるように建物の両側にピロティが設けられている。ピロティでは、旭市が誇る特産物を市場のような形で販売するスペースを確保している。



配置図兼１階平面図　１：５００



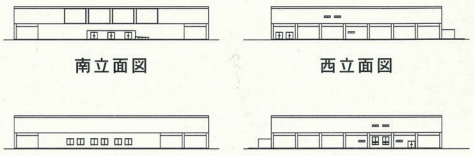
２階平面図　１：５００

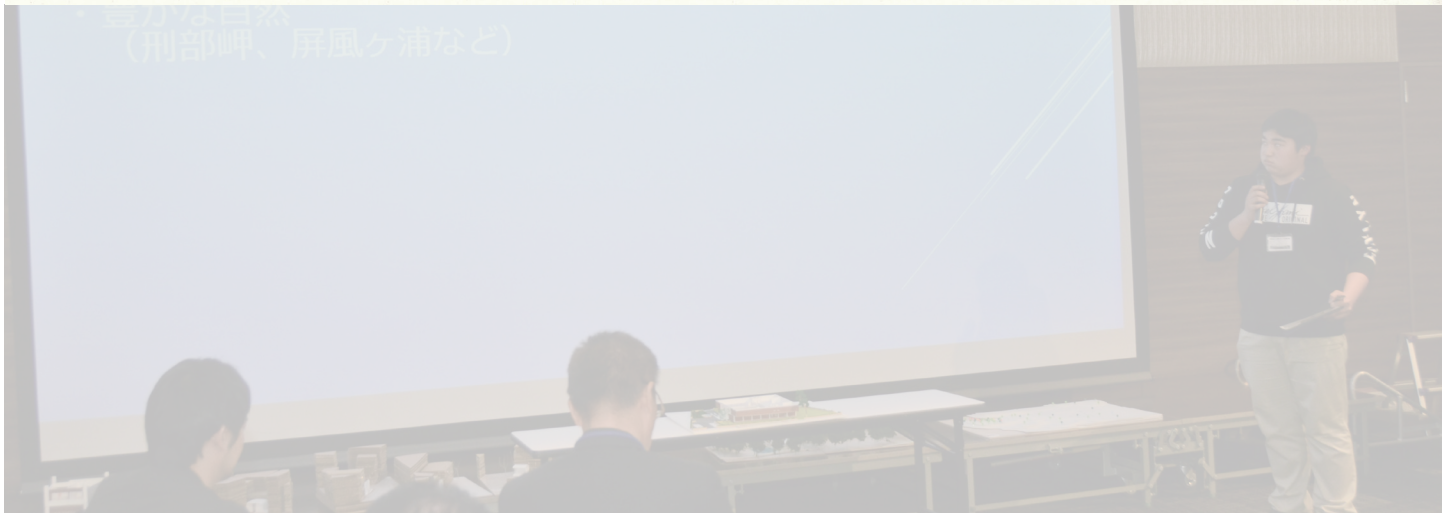
館内に入ると、催事に関するスケジュールやポスターが掲示してあり、エントランスは吹抜けになっているので館内全体に明るさを与え、開放的な空間となっている。右側には旭市の、左側には千葉県の歴史や文化、自然、行事などを知ることができる常設展示スペースがある。１階中央のカフェは、地域の方々のコミュニケーションの場として利用することができ、旭市の特産物を使った料理を食べることができるので地域の人でなくても楽しむことができる。

順路を進み２階へ上がると、企画展示、特別展示、多目的スペースがあり、企画展示と特別展示では春夏秋冬様々な季節を楽しむことができる展示スペースとしている。多目的スペースは体験イベントなどが開催できるように大きな空間を確保し、ステージを作った。ステージの下には収納スペースを設け、体験イベントがない普段の一時には机や椅子を配置し、学生たちの学習の場としても利用できるようにした。

面積表

敷地面積	8,000m²
建築面積	2,800m²
延床面積	4,858m²



南立面図　西立面図　北立面図　東立面図

立面図　１：５００